

煩悶

正岡子規

青空文庫

時は午後八時頃、体温は卅八度五分位、腹も背も臀しりも皆痛む、

アツ苦しいナ、痛いナ、アーアー人を馬鹿にして居るじゃないか、馬鹿、畜生、アツ痛、アツ痛、痛い痛い、寝返りしても痛いどころか、じっとして居ても痛いや。

アーアーいやになってしまふ。もうだめかな。もういかんや。ほんとうに人を馬鹿にしたら。いやになつちまうな。いやになりんすだ。いやだいやだも……だつていやがらア。衣ころも、汗かんに——到いたり——か、天下の英雄は眼中にあり——か。人を馬鹿にしてるな。そりや、聞えません伝兵エサンと来るじゃないか。三吉一つ歌つて見や。アイアイ。そんな事じゃなかつたよ。坂、坂は照る照る鈴、鈴鹿は曇る、あいのあいの土山雨がふる、ヨーヨーと来るだろう。向うの山へ千松がと来るだろう。そんなのはないよ。五十四郡の思案の臍へそと来るよ。思案の臍とはどんな臍だろう。コイツは可笑おかしい、ハハハハ痛い痛い痛い横腹の痛みをしゃくツて馬鹿に痛いよ。しかし思案の臍という臍が五十四郡に一ぱい並んで居ると思うと馬鹿に可笑しい。しかもその臍の上に一つずつ土瓶が掛けてあつてそれが皆茶をわかして居ると思うといよいよ可笑しい。臍があつてその上に蜘蛛くもがぶら下つて居るといふのは分るかい。へそくも今夜は来るであるサ。おそくも今夜はのしやれだよ。そんな奴

ならいくらもあるよ。箆ざるの中に子供を入れたので、ざる餓鬼やざる柿サ。閻魔えんま様が舌を出してその上に石を載せてる処はどうだ。閻魔舌の力持サ。古いネ。お話が古くなつていけないというので墨ぼくすい水師匠などはなるたけ新しい処を伺うような訳ですが手前の処はやはりお古い処で御勘弁を願いますよ。な訳で、たのしみはうしろに柱前に酒左右に女ふところ。金とか申しましてどうしてもねえさんのお酌しやくでめしあがらないとうまくないという事で、私などの汁粉党には一向分りませんが、ゲーツアー愉快愉快。一步は高く一步は低くと来らア。何でも家がぐらぐらして地面が波打つて居やがらア。ゲーツ酒は百薬の長、憂うれいの玉たま箆ほうき、ナンテ来らア。これでも妻君が内に待つてるだろうツちゆうので折詰を持つて帰るなどは大ていな事じやないよ。鼻かかあ大明神もつとも尤少々焼いて見るなどは有難いな。女房の焼くほど亭主持てもせず、ハハハハハ。これでも今夜帰ると、ゲー、鼻大明神きつと焼くよ。あなた今夜どこで飲みましたよ、位いうだろう。どこで飲んだ、どこで飲んだもねえものだ、おれが飲む処は新橋か柳橋、二重橋から和田倉橋、オットそいつはからくりだよ、今夜はね柳橋でね小紫をあいかたで飲みましたよ。オヤ小紫ですつてそれなら柳橋じやない吉原でしょう。ナー二柳橋にも小紫というおいらんがありますよ。スルト、鼻かかあめ柳橋においらんがありますか、そりや始はじめて聞きました。それでは柳橋の何屋に、などと来る

だろう。柳橋の三浦屋サ先日高尾が無理心中をしたその跡あとがま釜へ今日小紫を抱えたのサも
 つとも小紫は吉原の大文字に居たのだが昨日自由廃業したと、チャント今朝の『二六』に
 出て居るじゃないか、とまじめにいうと、アライやだよ人を馬鹿にしてる、あなたはきつ
 といひ処があつてそこで……くやしいツていうので枕か何かにくいつくよ、きつと。そう
 すると物になるね。鬢びんのほつれは枕のとが——よ——とおいでなさる、それをお前にとが
 ——め——……。クヤクヤ貴様は何じゃ、往来で大声放歌はならんちゅう位の事は心得
 て居るじやろう。どうも恐れ入りました。恐れ入ったではいかんじやないか。
 恐れ入りました。貴様姓名は何というか。へ私は神田八丁堀二丁目五十五番地
 ふくべ屋吞助と申します、どうかお見知りおかれて御別懇に願います。まだ無礼な事申し
 ちよるか。恐れ入りました。見受ける処がよほど酩めいてい酩めいていのようじゃが内には女房も待つち
 よるだろうから早う帰つてはどじやろうかい。有り難うございます。……世の中に何が
 有難いツてお廻りさん位有難い者はないよ。こんな寒い晩でも何でもチャント立つて往来
 を睨にらんで、何でも怪しいものと見とめると、クヤクヤ貴様は何じゃ、とおいでなさる、私
 は神田八丁堀二丁目五十五番地ふくべ屋吞助でございます、と来ると、見受ける処よほど
 酩酩めいていのようじゃが内には女房も待つちよるじやろうから早う帰つてはどじやろかい、とお

いでなさる。どじやろかい、とおいでなさる処が有難い、お廻りさんがあんなにおっしやるから早く帰ってこの折詰を女房にくわせてはどじやろかい。(未完) [明治35?]

青空文庫情報

底本：「飯待つ間」岩波文庫、岩波書店

1985（昭和60）年3月18日第1刷発行

2001（平成13）年11月7日第10刷発行

底本の親本：「子規全集 第十二巻」講談社

1975（昭和50）年10月刊

※底本では、表題の下に「〔署名不詳〕」と記載されています。

入力：ゆうき

校正：noriko saito

2010年5月19日作成

2011年5月12日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

煩悶

正岡子規

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>